

2

祭りの国・秋田

地域に残る風習を守り続ける伝統的な祭りが秋田にはたくさんあります。



①花輪ばやし (鹿角市)

8月19・20日／幸福荷神社の祭礼ばやしとして引き継がれ日本三大ばやしに数えられます。



②能代ねぶながし (能代市)

8月上旬／城郭型の大きな灯籠が、笛と太鼓のおはやしとともに市内をねり歩きます。



③土崎港曳山まつり (秋田市)

7月20・21日／曳山に迫力のある武者人形を飾り、港ばやしと踊りで一層華やきます。



④刈和野の大綱引き (大仙市)

2月10日／町を二分し、直径80cm、全長200m、重さ20トンにもなる国内最大級の綱を引き合います。



⑤六郷のカマクラ (美郷町)

2月11～15日／最終日の「竹うち」では青竹を持った若者が南北に分かれて打ち合い、豊作を祈願します。



⑥西馬音内盆踊り (羽後町)

8月16～18日／日本三大盆踊りの一つで、あでやかな衣装に編み笠・彦三頭巾姿で優雅に踊る様が幻想的です。

3

食の国・秋田

米をはじめとした農作物はもちろんのこと、ほかにはない特徴的な食品が秋田にはあふれています。

じゅんさい

夏の風物詩と言われ、淡白な味とツルンとした舌触りが珍重されています。



とんぶり

ほうき草の実で、魚の卵に似て、プリプリした歯触りから、「畑のキャビア」と呼ばれています。



いぶりがっこ

野菜を薫製にしてから漬けた漬物で、パリッとした歯ごたえとスモークの香りが特徴です。



4

自然と文化あふれる国・秋田

雄大な自然に抱かれた秋田には、歴史や伝統・文化が息づいています。



⑦白神山地 (藤里町・八峰町)

世界最大級の原生的なブナの自然林を基盤とした豊かな動植物群が生息し、世界遺産に登録されています。



⑧男鹿半島 (男鹿市)

日本海に拳を突き上げたような形をしており、半島には海、山、湖の景勝地が点在しています。



⑨鳥海山 (由利本荘市・にかほ市)

東北第2の高峰で、平地から眺めると裾が美しく広がっており、「出羽富士」とも呼ばれています。



⑩康楽館 (小坂町)

国内最古級の木造芝居小屋で外観は洋館風、内装は典型的な和風芝居小屋という和洋折衷の造りが特徴です。



⑪五城目朝市 (五城目町)

約500年前から続き、毎月定期的に行われる。自然の恵みから、生活用品まで扱う暮らしに密着した市です。



⑫増田の蔵 (横手市)

建物に覆われた内蔵を備えた短冊形の大規模な主屋が、風情ある町並みを形成しています。(国の重要伝統的建造物群保存地区に選定)